

第62回 四国地区人権教育研究大会（徳島大会）のご案内

春爛漫の好季節となりました。四国のなかまの皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、標記研究大会は、1954年に四国4県のなかまが結集され、徳島県において第1回研究大会が開催されて以来、大きな成果を積み重ねながら、本年度第62回大会を迎えることになりました。

私たちはこれまで、先人たちの意思を受け継ぎ、「四国はひとつ」の合い言葉のもと連携を深めながら、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決とすべての人が尊重される社会をめざし、確かな年輪を刻んでまいりました。

しかしながら、その一方で、急速に拡大する様々な格差に象徴される不平等感が社会に広まり、さらには、自他の尊厳を傷つけ、かけがえのない命までもが脅かされる出来事も頻発しています。

このようななか、私たちは、これまでの同和教育の成果と手法を大切にしながら、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向け、人権教育・啓発をさらに豊かに発展させなければなりません。

本研究大会は、同和問題をはじめ様々な人権問題の現状と課題をとらえ、日頃の実践の交流をとおして、互いの成果に学び合い、これからの人権教育・啓発に新たな展望を拓く意義と役割を担うなかで開催いたします。

つきましては、公私ともご多用のことと存じますが、多数の皆様方のご参加をいただき、本大会成功に向けて、格別のご協力・ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

2015年4月1日

四国地区人権教育研究協議会
会長 森口博行